

## はじめに

ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類などの微小昆虫における薬剤抵抗性に加え、これまで容易に防除ができていたワタアブラムシでネオニコチノイド系殺虫剤抵抗性系統の発生が平成 24 年度九州地方で確認され、さらに、チョウ目害虫に卓効を示すジアミド系殺虫剤に抵抗性のチャノコカクモンハマキが静岡で確認されるなど、害虫防除における殺虫剤抵抗性問題の拡大が強く懸念されている。栽培体系・防除体系の画一化・広域化に伴い、殺虫剤抵抗性害虫の常発化、広域化、多様化が起きていることから、抵抗性害虫対策には、地域を超えた連携が不可欠となっている。

本研究会では、国内外で殺虫剤抵抗性が顕在化している上記の害虫を対象に、抵抗性問題の現状と管理対策における課題ならびに研究機関の果たすべき役割について検討し、独法や都道府県の研究担当者、普及部門担当者、農薬メーカーを含む関係者の情報共有の促進と協力関係の構築に資する。

## プログラム・目次

11月27日

13:30-13:35 開会挨拶 農研機構中央農業総合研究センター所長 寺島一男

13:35-13:50 開催趣旨説明 農研機構中央農業総合研究センター 後藤千枝

### 第1部 殺虫剤抵抗性害虫の発生の現状と対策構築における課題

13:50-14:20 ハダニ類 日本曹達株式会社 小田原研究所 山本敦司 . . . . . 1

14:20-14:50 アザミウマ類 大阪府立環境農林水産総合研究所 柴尾 学 . . . . . 7

14:50-15:20 コナジラミ類 熊本県農業研究センター 生産環境研究所 樋口聡志 . . . . . 11

15:20-15:35 休憩

15:35-16:05 アブラムシ類 宮崎県総合農業試験場 松浦 明 . . . . . 14

16:05-16:35 チョウ目害虫 日本農薬株式会社 総合研究所 西松哲義 . . . . . 19

16:35-17:05 遺伝子情報を利用した薬剤抵抗性の機構解明と診断技術開発  
農業生物資源研究所 篠田徹郎 . . . . . 24

17:30-19:30 情報交換会

11月28日

### 第2部 感受性検定法の検討

9:00-10:40 生物検定法について

ハダニ類 奈良県農業総合センター 国本佳範 . . . . . 26

アブラムシ類 宮崎県総合農業試験場 松浦 明 . . . . . 30

コナジラミ類 熊本県農業研究センター 生産環境研究所 樋口聡志 . . . . . 32

アザミウマ類 大阪府立環境農林水産総合研究所 柴尾 学 . . . . . 35

チョウ目害虫 日本農薬株式会社 総合研究所 西松哲義 . . . . . 39

10:40-11:00 休憩

11:10-11:40 遺伝子解析を応用した抵抗性系統の検出法について

農研機構果樹研究所 品種育成・病害虫研究領域 土田 聡 . . . . . 43

岡山大学 資源植物科学研究所 園田昌司 . . . . . 45

11:40-12:10 総合討論

12:10-12:15 閉会挨拶 農業生物資源研究所理事 町井博明